

2022年6月吉日

資産評価政策学会 会員 各位

資産評価政策学会
会長 岩崎 政明

2022年度資産評価政策学会 総会・シンポジウム開催のお知らせ

拝啓 会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、2022年度総会及びシンポジウムを下記のとおり開催することが決まりましたのでお知らせします。ご多用のところ恐縮ですが、万障お繰り合わせのうえ、ご出席下さいますようお願い申し上げます。

出欠の回答および総会議決権委任につきましては、委任状様式にてご提出くださいますようお願いいたします。

敬 具

記

1. 開催日 2022年7月16日(土)
2. 会 場 ZoomによるWEB会議
*出席者の方には後日ZoomのURLをご連絡いたします。
3. プログラム

12:30~12:45 総会

議事次第につきましては、別添1<総会次第>をご覧ください。

12:50~13:00 学会賞表彰式

13:00~16:00 シンポジウム「デザインの将来価値をどう測るか」

シンポジウムの詳細につきましては別添2<シンポジウムの案内>をご覧ください。

別添1

<総会次第>

(1) 審議事項

第1号議案 2021年度事業報告及び収支決算(案)

第2号議案 2022年度事業計画及び収支予算(案)

(2) 報告事項

- ・2022年度資産評価政策学会賞
- ・その他

別添2

<シンポジウムの案内>

デザインの将来価値をどう測るか

主催：資産評価政策学会

開催日時：2022年7月16日(土) 13:00~16:00

開催場所：ZoomによるWEB会議

公開形式：一般公開、無料

定 員：200名(先着順)

参加申込期限：2022年7月13日(水) 17:00

<趣旨>

地球環境の変化、経済のグローバル化、そして技術革新が進み、個人の価値が多様化するなかで、世界規

模で社会的課題が複雑化し、企業や公的主体も対応を迫られている。なかでも重要な役割を果たす要素が「デザイン」である。デザインには社会の文化・歴史観や未来への展望が含まれ、それらが人々にもたらす共感等によって生産物等の評価が大きく影響される時代になっている。日本でも「知的財産戦略本部」が設置され、日本の国際競争力の強化の観点から、知的財産の総合、保護および活用に関する政策の重要性が指摘されている。今回のパネルディスカッションでは公的建築物に注目し、受益者と費用負担者に将来世代の市民が含まれる場合、そのデザインの価値をどのように評価し、適切な負担のもとに将来世代に受け継いでいくかという「持続可能性」の視点から、多様な研究者および実務家との意見交換によって、この問題に対する社会の認識を深めたい。

<プログラム>

パネリスト : 岩崎政明 (明治大学教授、資産評価政策学会会長)
仙田 満 (環境デザイン研究所会長、東京工業大学名誉教授)
福井秀夫 (政策研究大学院大学教授、資産評価政策学会副会長)
矢田 努 (公益社団法人こども環境学会研究員)
渡辺景己 (杉戸町建築課主幹)

コーディネーター : 井出多加子 (成蹊大学経済学部教授、資産評価政策学会理事)

(敬称略・五十音順)

<お申込み・お問合せ>

資産評価政策学会 事務局

Mail : japap00@gmail.com